

# 湖水を渡る風〜画図小学校通信〜

第三一号 平成三十一年二月八日

文責・発行 校長 清田浩文

## 保護者の皆様へ

### (ご意見・ご要望について) その五

○せっかく飼育小屋があるので、「何か飼育したらいいのに」と思っています。  
(五年保護者)

飼育していたうさぎが死んだり、鳥インフルエンザの問題が発生したりして、飼育小屋があっても何も飼育していない学校が増えているという現状があります。ただ、小動物や鳥類を責任もって飼育することで、命の大切さや責任をもって仕事を継続することの重要性等を学ぶことができます。何らかの小動物や鳥類を飼育できそうであれば飼育の再開を検討していきたいと思っています。

○授業参観はなるべく平日にしてもらいたいです。土・日はお休みの方がゆっくりできます。  
(四年生保護者)

○授業参観は、なるべく平日にはしなくてもらいたいです。仕事を休んで行くのが大変です。  
(一年保護者)

それぞれの立場からのご意見をいただきながら、年間を通じて、平日にも土曜日にも授業参観を実施しています。どちらか一方に偏ることはできません。ご理解とご協力をお願いいたします。

○授業参観のときに、職場から学校へ直行できるように運動場を開放してほしいです。  
(六年保護者)

運動場で体育の授業を行う場合があります。また、自動車が校地内に侵入することによる事故の心配もあります。児童の安全確保の観点から、運動場を駐車場として開放することはできません。

子どもたちの俳句を紹介します！

## 熊本ライオンズクラブ

### 第四六回少年少女俳句会

佳作

夕立でせんたく物がまたぬれる

五年 坂西 莉帆

父さんとつり糸たらしヤマメとる

五年 横田 祥

「おかえり」を待たずに向かう冷蔵庫

六年 坂元 涼葉

川あそび上にいくほどつめたいな

六年 本田 弥咲

### 第二六回汀女顕彰俳句大会

佳作

またきたよラッシュアワーのたいふうだ

三年 木下 理空

かきごおりのどのおくまでひびいてる

一年 長瀬 春瑠音

かぶとむしつちにもぐつてすずんでる

一年 高木 莉子

カブトムシじまんの一本いさましい

二年 佐藤 正都

ほんとねママにあげたいなつやすみ

一年 住吉 成遂

そつめんがたけのどうろをすべりだい

一年 木村 忠

「赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」で学校賞を受賞しました。俳句委員会が中心になって活動してくれた成果です。

二月六日(水)、日頃お世話になっている地域の方々をお招きして「感謝の会」を開催しました。それぞれの学年で担当を決めて、感謝の手紙をお渡しし、合唱部の歌や全校児童による校歌で感謝の気持ちを伝えました。皆さん、大変喜んでくださいました。

